



高美が丘中だより

令和3年度

第10号

令和4年1月7日(金)

東広島市立高美が丘中学校

新年あけましておめでとうございます

令和4年(2022年)がはじまりました。みなさんは、冬休みをどのように過ごしましたか。今年は、県外の移動制限もなかったため、いづらか家族が集まることのできたのではないのでしょうか。

さて、2022年の干支は、壬・寅(みずのえとら)です。十干(じゅかん)が壬(みずのえ)で十二支が寅(とら)で、組み合わせて壬寅となります。干支とは、中国の古い思想である陰陽五行説からきているもので、60年周期で繰り返す歴のことです。十干とは、「甲 乙 丙 …」と10種類あり、十二支は「子 丑 寅 …」と12種類あり、二つの組み合わせで60年経つともともにもどって繰り返されるということで還暦といいます。例えば、甲子園球場が建てられたのが干支の甲子なので甲子園の名前の由来となっているようです。説明が長くなりましたが、壬寅は「冬が厳しいほど春の生命力に溢れ、華々しく生まれること」を表しているそうです。つまり、冬の厳しさをコロナ禍の状況ととらえるなら、今年こそは、コロナ禍から回復し日常を取り戻すことができるのではないかと考えたいものです。



新しいことにチャレンジできる年でもあると思います。そのための準備も必要です。「みずのえとら」のこの年をどのように過ごしていくか、しっかりと将来の目標を立てて、行き当たりバッタリではなく計画的に、取り組んでください。

3年生は、1月からの入試の時期を乗り切るために特に健康面に気を付けていくことが大切です。高校入試という大きな壁に対して、自分一人ではなく仲間や家族、そして先生たちとともに乗り切っていきましょう。

挑

2年生は、新しい入試制度の最初の学年です。「自己表現」というキーワードがでてきていますが、普段の学校生活から、自分自身のことや高校進学後の将来の目標について、自分の考えを自分の言葉で表現する力を身に付けることを意識して生活してください。これは、1年生にも言えることです。特に、1年生は、4月に入ってくる新入生に対して、中学生はこんなに頑張っているんだという姿を見せて、その姿で後輩を引っ張っていけるようになれば素晴らしいと思います。よろしくお祈りします。

新しい年が、干支の壬寅のごとく、冬の厳しさを乗り越えて咲く、梅の花のような年になることを期待します。

「体力づくり」コンテストで3年連続受賞

毎日新聞社主催、毎日カップ「中学校体力づくり」コンテストで高美が丘中学校が毎日新聞社賞(全国2位相当)を受賞しました。一昨年度の日本学校体育研究連合会賞(全国4位相当)、昨年度の文部科学大臣賞(全国1位相当)に続き、3年連続の受賞となりました。



生徒が自ら課題を見つけて、取り組む内容やレベルを設定して主体的に取り組んでいく「高美が丘方式」を創り上げていきました。取り組みは授業にとどまらず、体育大会やクラスマッチにも展開され、学年縦割りで赤団と白団に分かれて応援団



を結成し、夏休みに自主的に何度も練習して応援を創りました。こうした総合的な内容が高い評価につながった受賞となりました。これを機に、更なる知・徳・体の調和を図り、生徒の皆さんが主体的に学んでいくことを期待しています。



表彰

税の習字コンクール	3年1組 ○○○○○	会長賞
環境問題作文コンクール	3年1組 ○○○○○	優秀賞
	2年2組 ○○○○	優秀賞
	1年1組 ○○○○○	優秀賞
第47回呉・賀茂地区中学校新人ソフトテニス大会	○○○○○・○○○○ペア	準優勝
	○○○○・○○○○ペア	第9位
社会を明るくする運動作文コンテスト	3年2組 ○○○○○	優秀賞
第29回広島県中学生ジュニアソフトテニス選手権大会	女子ソフトテニス部	第3位
第7回ルーセントカップ広島県中学生学年別ソフトテニス大会女子個人の部(2年)	○○○○○・○○○○ペア	第3位



1・2月行事予定(変更することがあります。)

7日(金) 後期後半開始・書初競書大会	15日(土) 新人駅伝競走大会(陸上部)
1・2年実力テスト(~11日)	18日(火) 3年後期期末試験(~20日)
8日(土) 新春駅伝競走大会(陸上部)	27日(木) 2年修学旅行(~29日)
10日(月) 成人の日	31日(月) 2年振替休日
12日(水) 生徒委員会	2月3日(木) 選抜(I)併設型入試
13日(木) 第3回PTA総務委員会	2月5日(土) 高屋町P連研修会